

『コード分解式アレンジ・テクニック』正誤リスト

PART 1

P21 下から7行目

【誤】「addや7thの表記がないので、その部分も含めてピアニストの自由です」

【正】削除

P41 上から2行目

【誤】2つコードがスムーズに

【正】2つのコードがスムーズに

P41の最後からP42の2行目

【誤】ただ、こちらは3小節目が[ラ]から[ミ]への変化なので、跳躍と言えるほど“飛んで”はいません。そのためFの部分がCに比べて地味に聴こえるように思います。

【正】こちらは3小節目が[ラ]から[ミ]への跳躍ですが、音域が低いためにそれほどの跳躍感がなく、Fの部分がCに比べて地味に聴こえると思います。

P46 下から15行目

【誤】さらに、2／4小節目では

【正】さらに、2小節目では

P46 下から12行目

【誤】2／4小節目はピアノで3度を鳴らして、全体的なバランスをとろうとした結果です

【正】2小節目はピアノで3度の[ミ]を鳴らして、全体的なバランスをとろうとした結果です。4小節目も3度の[ラ]を加えるとよりFの響きをはっきりすると思いますが、ここは2小節目と同じ[ド・ミ・ソ]にして4小節目でのトータルな流れを出すことを優先しました。

PART 2

P54 上から8行目

【誤】その場合は3小節目のコードが

【正】その場合は2小節目のコードが

P63 下から3行目

【誤】[ソ→ファ→ミ→レ→ド]

【正】[ソ→ファ→ミ→レ→ド]

P68 下から6行目

【誤】役割になるのは

【正】役割になるのかは

P69 表①のキャプション1行目

【誤】 7つの音を書くコードの度数で

【正】 7つの音を各コードの度数で

P80 下から2行目

【誤】 Eのコード構成音トーンである

【正】 Eの構成音である

P82 上から2行目

【誤】 ドはAmでは5度

【正】 ドはAmでは3度

P82 下から1行目

【誤】 1つにアイデアを

【正】 1つのアイデアを

P82 Track 42

【音源修正】 譜例⑨のPianoの左手とTrack 42が異なっていました。修正したMP3ファイルを下記のURLよりダウンロードしてご使用ください。

http://www.rittor-music.co.jp/hp/mp3/9784845623235/Tr42_new.zip

P82 譜例⑨

■コード・ネームを追加

(Guitar 1)

Am G F E

(Guitar 2)

(Piano)

(Bass)

P98 譜例⑥

■注釈を追加



P98 譜例⑥キャプション

【誤】 譜例⑥ ダイアトニック・コードで [9th→3度→Δ7th] でフレーズを作る例

【正】 譜例⑥ ダイアトニック・コードで [9th→3度→Δ7thもしくは7th] でフレーズを作る例

P99 上から5行目

【誤】 ドミナントのG7でも

【正】 ドミナント系のGsus4でも

P99 下から5行目

【誤】 4小節目はFΔ9／Gですね。

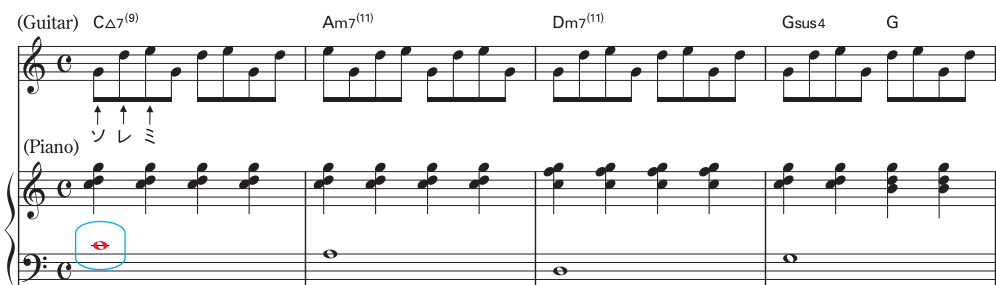
【正】 4小節目はFΔ7 (9,13) ／Gですね。

P99 譜例⑦

■ 1小節目ピアノ左手

【誤】 「ミ」

【正】 1小節目ピアノ左手「ド」



P101 上から7行目

【誤】 3度の [ミ] と9thの [ファ] が

【正】 3度の [ファ] と9thの [ミ] が

P103 譜例②

■ 調号追加してFメジャー・キーに修正

■ 3小節目 1拍目ピアノ右手の構成音

【誤】 「シ」

【正】 「シ ナチュラル」

(Guitar) B \flat Δ 7⁽⁹⁾ Gm7⁽⁹⁾ Am7⁽⁹⁾ Dm7⁽⁹⁾

(Piano) IV II III VI

P105 上から3行目

【誤】 ピアノが2拍目裏

【正】 ピアノが3拍目裏

P110 上から1行目

【誤】 3～4小節目の2拍目

【正】 3小節目から4小節目の2拍目

P110 上から6行目

【誤】 これは

【正】 こうした

P111 譜例①

■ 3／4小節目のいずれも2拍目

【誤】 「ソ#」

【正】 「ソ ナチュラル」

(Guitar) A7 Dadd9

(Organ) ↑ トライアド

(Bass) ↑ トライアド

P112 上から9行目

【誤】 この半音の響きにテンションが入ると、半音や全音でメロディがつながったり、新たな響きが生まれたりしていきます。

【正】 前ページの譜例①では3～4小節目の「ソ」がD7の11thと解釈することもできますが、このように半音の響きにテンションが入ると、半音や全音でメロディがつながったり、新たな響きが生まれたりしていきます。

P112 下から3行目

【誤】単純に、譜例①で使ったフレーズをそのまま別のコードで

【正】単純に、譜例①で使った音をそのまま別のコードで

P113 下から5行目

【誤】思い切ってGのトライアドを弾くことにしました。左手はそのまま「ラ」なので、コード・ネームはG/Aになります。

【正】思い切ってGのトライアドにした上で、トップ・ノートを前の小節の「ミ」に合わせて6thの「ミ」を弾きました。左手はそのまま「ラ」なので、コード・ネームはG6/Aになります。

P113 譜例②

■ 2小節目のコード・ネーム

【誤】「G/A」

【正】「G6/A」

The musical score for P113 Example 2 consists of two staves: (Guitar) and (Organ). The key signature is one sharp (F#) and the time signature is common time (C). The Guitar staff has four measures with chords A7, G6/A (circled in red), D, and Cadd9/D. The Organ staff has four measures. The second measure of the Organ staff has a label 'シンコペーション' (Syncopation) with an arrow pointing to the second beat. The fourth measure of the Organ staff has a label 'シンコペーション' (Syncopation) with an arrow pointing to the second beat. The Organ staff also has a label 'シンコペーション' (Syncopation) with an arrow pointing to the second beat of the fourth measure.

P115 上から15行目

【誤】3～4小節目はこの2つのボーシングを

【正】3～4小節目はこの2つの音を

P116 譜例④

■ 2小節目の括弧書きコードの位置を左のE△7に寄せる

The musical score for P116 Example 4 consists of three staves: (Guitar), (Pad), and (Bass). The key signature is one sharp (F#) and the time signature is common time (C). The Guitar staff has four measures with chords E, E△7(B/E) (circled in red), B/A, and A. The Pad staff has four measures with chords E, E△7(B/E) (circled in red), B/A, and A. The Bass staff has four measures with chords E, E△7(B/E) (circled in red), B/A, and A. The Pad staff has a label '全音' (Whole tone) under each measure. The Bass staff has a label '全音' (Whole tone) under each measure. The Pad staff also has a label '全音' (Whole tone) under each measure.

P117 上から8行目

【誤】 もう一つの特徴は、3～4小節目の1音目を「シ」から「ラ」に変えているところです」

【正】 なお、譜例では行っていませんが、3～4小節目の1音目を「ラ」に変えると、EからAへのコードの変化をより明確にできます。

P120 譜例②

■ Guitar：3／4小節目の3拍裏から4拍目表へタイ追加

(Guitar) G Em7 Am7 C/D

(Piano)

(Bass)

P121 譜例③

■ Guitar：2小節目1拍目裏

【誤】 「ファ」

【正】 「ファ#」

■ 4小節目注釈

【誤】 「ド#」

【正】 「ド」

(Guitar) Am7 D7(9) Bm7(b5) E7(b13) E7

(Electric Piano)

(Bass)

P122 下から12行目

【誤】 前半2拍でE7の13th [ド] を入れ

【正】 前半2拍でE7のb13th [ド] を入れ

P123 譜例④

■ 1小節目のコード・ネーム

【誤】 Em7 (9, 11)

【正】 Em7 (9)

■ Guitar：3小節目2拍目

【誤】 「レ」

【正】 「ド」

■ Guitar：4小節目2拍目裏

【誤】 「ラ」

【正】 「ファ#」

(Guitar) Em7⁽⁹⁾ Am7⁽⁹⁾

ソ ファ# ミ ファ# ソ

(Piano) 半音の響き

(Bass)

P123 上から2行目

【誤】 [Em7 (9, 11) → Am7 (9)]

【正】 [Em7 (9) → Am7 (9)]

P123 上から7行目

【誤】 3～4小節目はAm7の1度 [ラ] を弾いています

【正】 削除

P123 上から8行目

【誤】 [Em7 (9, 11) → Am7 (9)]

【正】 [Em7 (9) → Am7 (9)]

P124 上から8行目

【誤】 3小節目のAm7 (9, 11)

【正】 3小節目のAm7 (9)

P124 上から13行目

【誤】 [ミ→ファ#→ソ→ラ]

【正】 [ミ→ファ#→ソ]

P125 上から5行目

【誤】 3小節目B♭／Cの♭7度（B♭のトライアドで考えると9th）

【正】 3小節目B♭／Cの9th

P126 譜例⑥

■Guitar：1／2小節目の2拍目裏から3拍目表へタイ追加

PART 4

P130 下から4行目

【誤】 付点16分音符

【正】 付点8分音符

P131 上から13～14行目

【誤】 10～11小節目は前述の

【正】 11～12小節目は前述の

P131 上から14行目

【誤】 特に11小節目では

【正】 特に12小節目では

P131 上から16～17行目

【誤】 9～14小節目

【正】 9～15小節目

P133 上から3行目

【誤】 ギターが13th

【正】 ギターが♭13th

P133 上から10行目

【誤】 ギターは36小節目のAm7で、[ソ・ド・レ・ソ]と[ソ・シ・レ・ソ]というボーシングを弾いています。

【正】 ギターは36小節目のAm7で、ルートを除くと残りの4音は[ソ・ド・レ・ソ]と[ソ・シ・レ・ソ]というボーシングを弾いています。

P133 下から16行目

【誤】 [1度・5度・7th]

【正】 [1度・5度・△7th]

P133 下から6行目

【誤】 42小節目からは

【正】 43小節目からは

P135 譜例

■Pf：17小節目、下段2拍目表

【誤】 「ド」

【正】 「ド#」

17 Bm7 Em7 Am7 Dsus4 D

P136 譜例

■Gt.：28小節目3～4拍目のフレーズ

【誤】 「シ→ラ→ソ→レ→レ→ミ→ソ」

【正】 「シ→ラ→ソ→ミ→レ→ミ→ソ→ミ」

25 C Dm Em G

P137 譜例

■37小節目 1 拍目のコードのトップ音

【誤】ド

【正】シ

The image shows a musical score for guitar (Gt.) and piano (Pf.). The guitar part starts at measure 37 with a CΔ7 chord, which is circled in blue. The piano part is shown below. The score includes measures 37, 38, and 39 with chords CΔ7, Bm7, and Am7 respectively.

P139 下から13行目

【誤】9thのテンショ感

【正】9thのテンション感

P139 下から5行目

【誤】24小節目だけ「ファ#」の音を入れて「ラ→レ→ソ→ファ#→レ」としました。

【正】24小節目だけ「ラ」を「ソ」に変えて、「ファ#」の音も入れて「ソ→レ→ソ→ファ#→レ」としました。

P139 下から2行目

【誤】この1音で、

【正】特にこの「ファ#」で、

P140 上から4～5行目

【誤】26小節目のBm7では「ファ#→ソ→ミ→レ」、27小節目のAm7では「ファ#→ソ→ミ→ド」と少しずつ変化させて連続性を持たせています。

【正】26小節目Bm7では「ファ#→ソ→ミ→レ」と少しずつ変化させて持続性を持たせています。27小節目では、25小節目のリズムを踏襲するため3音で「ミ→ソ→ド」に分解しました。

P140 上から6行目

【誤】さらに、28小節目のAm7でも連続性のある「ソ→ド→レ→ド→ソ」というフレーズでありながら、9thの「ソ」で変化を加えているのも、大きなポイントです。反復とその中での変化は、アレンジを行う上で常に意識しておくといよいでしょう。

【正】さらに28小節目のAm7では「ソ→ド→レ→ド→ソ」というフレーズになっています。これは26小節目のリズムを踏襲しつつも、4拍目の音に変化を付けた形です。このように前の小節と関連付けをしながらも、少しずつ変化させることを意識するとよいでしょう。

P142 譜例

■Guitar 2：4小節目3拍目

【誤】 [ソ・ド]

【正】 [ソ・シ]

Score for P142. The score is in 4/4 time. Guitar 1 has an Intro (Arp.) section. Guitar 2 has a (Crunch) section. The 4th measure of Guitar 2 is circled in blue, highlighting the correct notes [ソ・シ] and the incorrect notes [ソ・ド].

P144 譜例

■Gt. 1：33小節目2拍目表

【誤】 「レ」

【正】 「ド」

Score for P144. The score is in 4/4 time. Gt. 1 has a C/D section. The 33rd measure of Gt. 1 is circled in blue, highlighting the correct note 「ド」 and the incorrect note 「レ」.

P147 譜例

■Gt.1：62小節目3拍目裏から4拍目にかけてタイ追加

Score for P147. The score is in 4/4 time. Gt. 1 has a G section. The 62nd measure of Gt. 1 is circled in blue, highlighting the correct notes and the addition of a tie.

////////////////////////////////////
PART 5
////////////////////////////////////

P152 上から1～3行目

【誤】 上からメロディ (Melody)、第1バイオリン (1st Violin)、第2バイオリン (2nd Violin)、ビオラ (Viola)、チェロ (Cello)、ピアノ (Piano) の順に並んでいます。

【正】 上からメロディ (Melody)、ピアノ (Piano)、第1バイオリン (1st Violin)、第2バイオリン (2nd Violin)、ビオラ (Viola)、チェロ (Cello) の順に並んでいます。

P152 上から9行目

【誤】 なたりするかもしれません。

【正】 なったりするかもしれません。

P155 上から8～9行目

【誤】 3小節目はG/Dのボーシング [シ・ソ] ですが、

【正】 3小節目と5小節目はG/Dのボーシング [シ・ソ] ですが、

P155 上から15行目

【誤】 [シ・ソ・レ・シ]

【正】 [シ・ソ・レ・レ]

P156 上から11～16行目

【誤】 13～14小節目は対旋律+コードで、13小節目はメロディの [ソ→ファ#→レ] に対して、第1バイオリンとビオラがオクターブでユニゾンしています。第2バイオリンはメロディの6度下を弾きつつ、4拍目は5度下を弾いています。ここは6度音程の応用部分で、6度下は [ファ#] ですが、これはEm7の9thで少しきつい感じの響きになります。そこで、素直にEm7の3度 [ソ] を選択しました。

【正】 13小節目は対旋律+コードで、メロディの [ミ→レ→シ] に対して、第1バイオリンが6度下を弾いています。ビオラは2～3拍目で第1バイオリンの6度下を弾き、4拍目は5度下の [ソ] を弾いています。4拍目は6度下を弾くとEm7の9thにあたる [ファ#] になり、少しきつい感じになると判断して、Em7の3度 [ソ] の音を選択しました。

P161 下から4行目

【誤】 5音のうち、4つが [レ] ですが、

【正】 5音のうち、3つが [レ] ですが、

P162 譜例

■Vn.2：5～6小節目のタイ削除

■Va.：6～7小節目にタイ追加

■Vn.1：8～9小節目にタイ追加

Musical score for P162. The score includes parts for M. (Melody), Pf. (Piano), Vn.1 (Violin 1), Vn.2 (Violin 2), Va. (Viola), and Vc. (Violoncello). The key signature is one sharp (F#). The score shows corrections for Vn.1, Vn.2, and Va. parts. Vn.1 has a blue oval around a measure with a red line indicating a tie. Vn.2 has a blue oval around a measure with a red line indicating a tie. Va. has a blue oval around a measure with a red line indicating a tie. The score also includes a 5-measure rest for M. and a 5-measure rest for Pf.

P164 譜例

■Vc.：24小節目

【誤】「レ」

【正】「ミ」

Musical score for P164. The score includes parts for M. (Melody), Pf. (Piano), Vn.1 (Violin 1), Vn.2 (Violin 2), Va. (Viola), and Vc. (Violoncello). The key signature is one sharp (F#). The score shows a correction for Vc. part. Vc. has a blue oval around a measure with a red line indicating a tie. The score also includes a 22-measure rest for M. and a 22-measure rest for Pf.

P168 ページ上部の見出し

【誤】 [4 コーラス目：50～56小節] 解説：P160～P161

【正】 [4 コーラス目：50～56小節] 解説：P160

P169 譜例

■Vn.2：57小節目 4 拍目

【誤】「ラ」

【正】「シ」

■Vn.1：61小節目

【誤】「シ」

【正】「レ」

■Vn.2：60小節目 3 連符の最後

【誤】「シ」

【正】「ラ」

■62小節目コード・ネーム

【誤】「F#m」

【正】「F#m7」

↓修正後譜例

The musical score is presented in two systems. The first system covers measures 57 to 60, and the second system covers measures 61 to 64. The staves are labeled M. (Melody), Pf. (Piano), Vn.1 (Violin 1), Vn.2 (Violin 2), Va. (Viola), and Vc. (Violoncello). The key signature is G major (one sharp). The first system shows corrections for Vn.2 at measure 57 (circled red) and measure 60 (circled red). The second system shows corrections for Vn.1 at measure 61 (circled red) and the chord name for measure 62 (F#m7 circled red).

P170 譜例

■69／71小節目のコード・ネーム

【誤】 G/A

【正】 G/D

69 G/D D G/D D

M.

Pf.

Vn.1

Vn.2

Va.

Vc.

P171 譜例

■17小節目3拍目トップ・ノート

【誤】 「ミ」

【正】 「レ」

17 G/A D G/D D

P172 譜例

■27小節目上段

【誤】「ド」

【正】「ド ナチュラル」

■30小節目上段：の休符を削除して3拍目の2分音符を全音符に修正

■38小節目：Bm7を追加

■38小節目3～4拍目のリズム修正

■47小節目の付点2分音符の位置を4分休符の下に修正

25 G/A A/G F#m7 C/D G/A7 F#m7

29 Em7 F#m7 G/A D

33 G/A D G/D D

37 D Bm7 G/A7 D/F# A/C# G/B

41 A D A/C# G/B F#7/A# D/A A#7

45 G/A7 G#dim D/A G/A D

////////////////////
以上